

- 1Fで働く約7,000人の作業員とそこそご家族のみなさまのためのウェブサイトを開設
- 「働く場」の情報を提供し、働く仲間や応援者のメッセージを伝え、長期にわたる廃炉作業に対して安心してモチベーション高く働いていただくことが目的



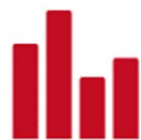
大きな文字を使うなど作業員が見やすいレイアウトで構成。スマホにも対応

MENU

BUS SERVICE TABLE

DATA

REPORT



<http://1f-all.jp/>

コンテンツ

- バス時刻表(ご要望もふまえ今後構外バスも掲載予定)
- 給食センターメニュー
- 作業員の方へのインタビュー
- 廃炉に向けた中長期ロードマップの進捗状況からトピックスを毎月発信
- マスク装着区分エリアマップなど放射線関係の情報も発信

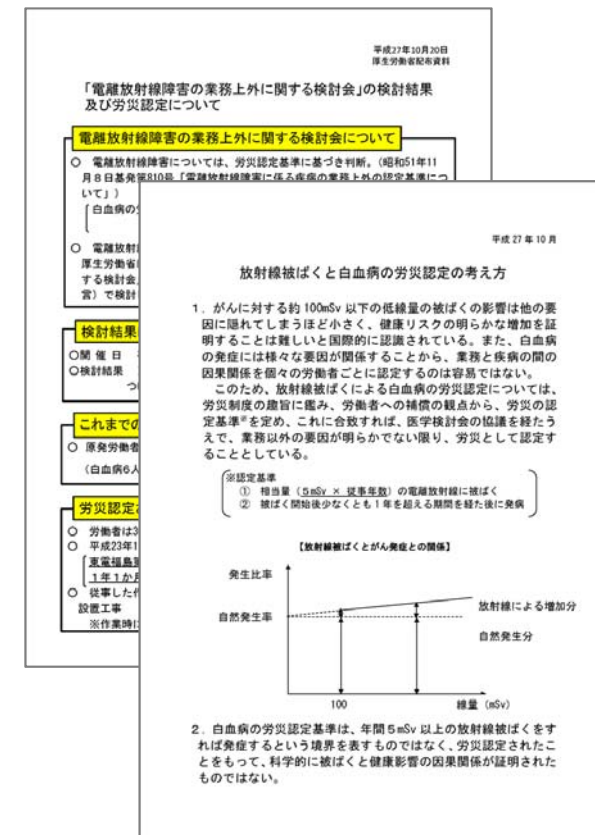
1F●R
ALL JAPAN

作業員のみなさまへの情報発信

- 日常的に役立つ情報だけでなく、作業員のみなさまやご家族のご不安を低減するための情報発信の場としても活用
- 1Fで過去に作業をされた方が白血病を発症し労災認定されたニュース(2015年10月)を受け、認定基準やその考え方をウェブサイト上で発信

2015年11月17日掲載 白血病の労災認定の考え方について

- 1Fで平成24年10月から平成25年12月に作業をされた方が、白血病を発症し労災認定されたというニュースがありました。
- 厚生労働省が昭和51年に定めた放射線被ばくによる白血病の労災認定基準は、以下のとおりです。
＜白血病の労災認定基準(昭和51年11月の通達より)＞
 - $5\text{mSv} \times \text{従事年数}$
 - 被ばく開始後1年以上経過して発症
- 厚生労働省は、「白血病の労災認定基準は、年間 5mSv 以上の放射線被ばくをすれば発症するという境界を表すものではなく、労災認定されたことをもって、科学的に被ばくと健康影響の因果関係が証明されたものではない。」との考え方を示しています。
- 労災と認められた場合は補償を受けることができます。労働災害(労災)とは、労働者の業務による負傷や病気などのことです。
- 労災補償や労災保険給付に関するお問い合わせは、都道府県労働局及び労働基準監督署で受け付けています。
- 国立がん研究センターは、1年間に新たに白血病と診断されるのは男性で人口10万人あたり11.4人と発表しています。



厚労省作成資料も掲載

http://1f-all.jp/information/20151117_n.html

ニュースレター「月刊いちえふ。」

- ウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」と連動して、月に1回、情報誌「月刊いちえふ。」を構内やJヴィレッジで配布。インターネットにアクセスできない方にも情報をお届け
- ウェブサイトに掲載された情報のほか、お楽しみコンテンツを掲載



コンテンツ

- トピックス
- インタビュー記事
- 1Fの最新状況
- いこいの時間(間違い探し等)、プレゼント

1F構内(大型休憩所)等で2,000部配布